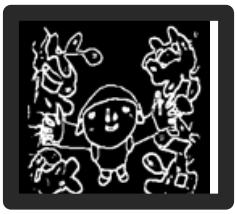
薬草園かわらばん

皆さ～んチョット覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ‥



２０１７年
８月１６日
第２０号

トウワタ（キョウチクトウ科）

熱帯アメリカ原産で、江戸時代に渡来、主に観賞用として栽培されます。「アスクレピアス」の名で流通し、切り花として利用されます。種子に綿のような毛をもつことから、外国から来たワタ（唐綿／とうわた）の名が付いたとのことです！

尚、実際にワタ（綿）を採るのは、アオイ科の植物の種子からです。

中国では、トウワタの全草を、蓮生桂枝花）という生薬として用い、消炎、止血、通経等の目的で使用するようですが、実際には心毒性、催吐作用のあるアスクレピアジンを含む有毒植物です。

ミソハギ（ミソハギ科）

全国各地の湿地に生える高さ１m位の多年草。旧盆のころ開花し、盆花として用いる。花穂で水を注ぐと供物が清められると言われたので（禊萩/みそぎはぎ）、ミソハギの名が付いたとの事です。

全草を生薬センクッサイ（千屈菜） と云い、民間薬として、下痢止め、膀胱炎、むくみに用いられます。

今、こんな草木が楽しめます
待ってまーす！！

薬草園ボランティアグループ